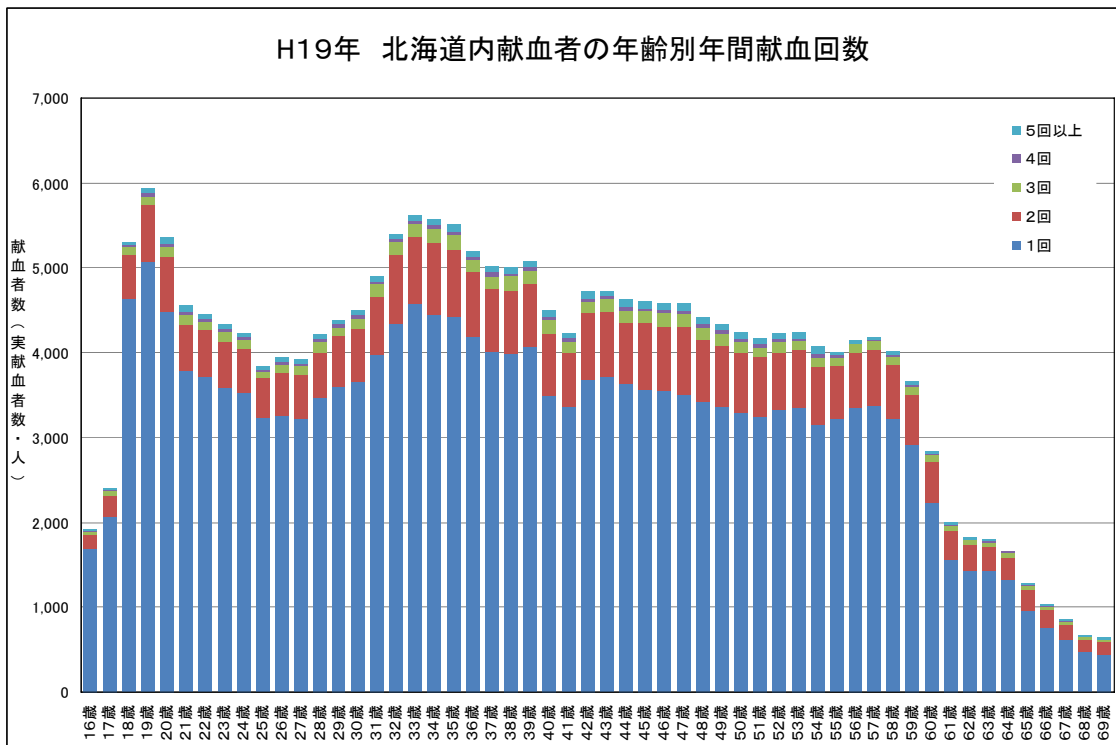
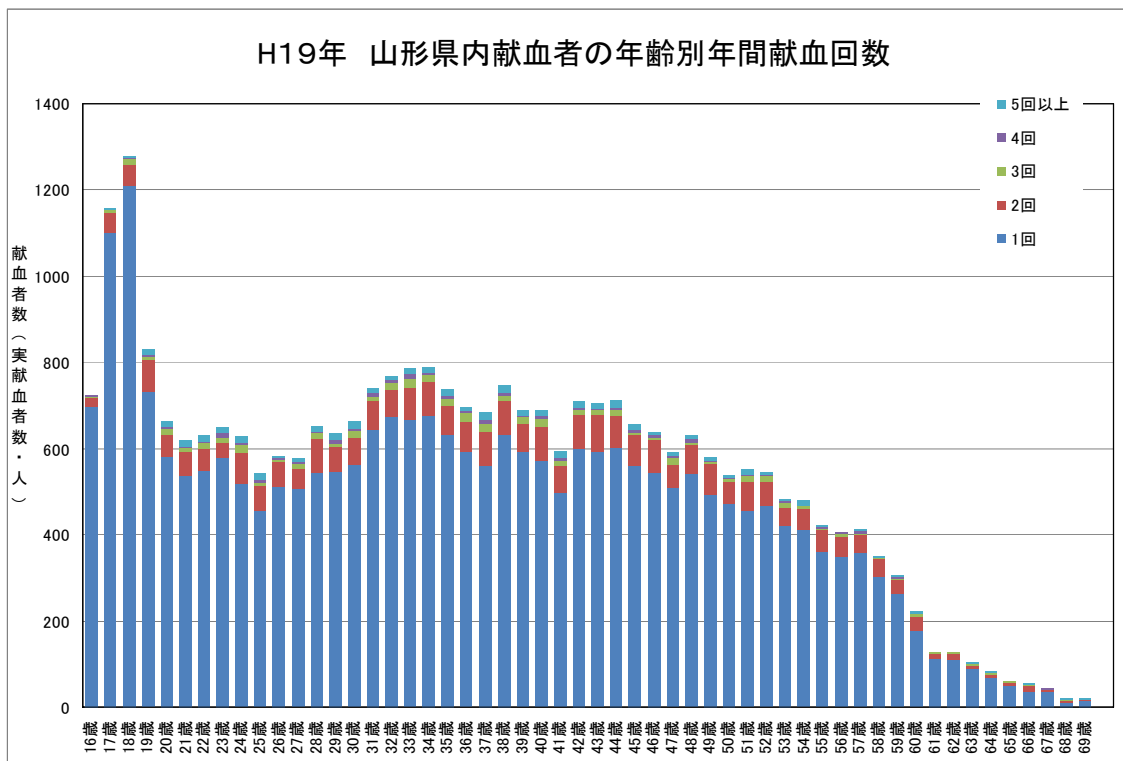


年齢別献血者実数グラフ（年間献血回数別【6都道府県抜粋】）



- 実総献血者数
2 1 1, 5 4 6 人
- 年齢別に見る実献血者数
他の年齢に比べて19歳の献血者数がやや突出しているが大きな差はない。
21歳から26歳前後に大きく減少するが、28歳以降緩やかに上昇しつつ32歳～35歳で第二のピークがあり、その後は緩やかな右下がり。
- 献血回数の傾向
献血回数1回の献血者に対する献血回数2回の献血者の割合は、他都府県と比較すると全年齢を通じて高い傾向が見受けられる。特に、40歳以降の全年齢で19%以上となっている。



- 実総献血者数

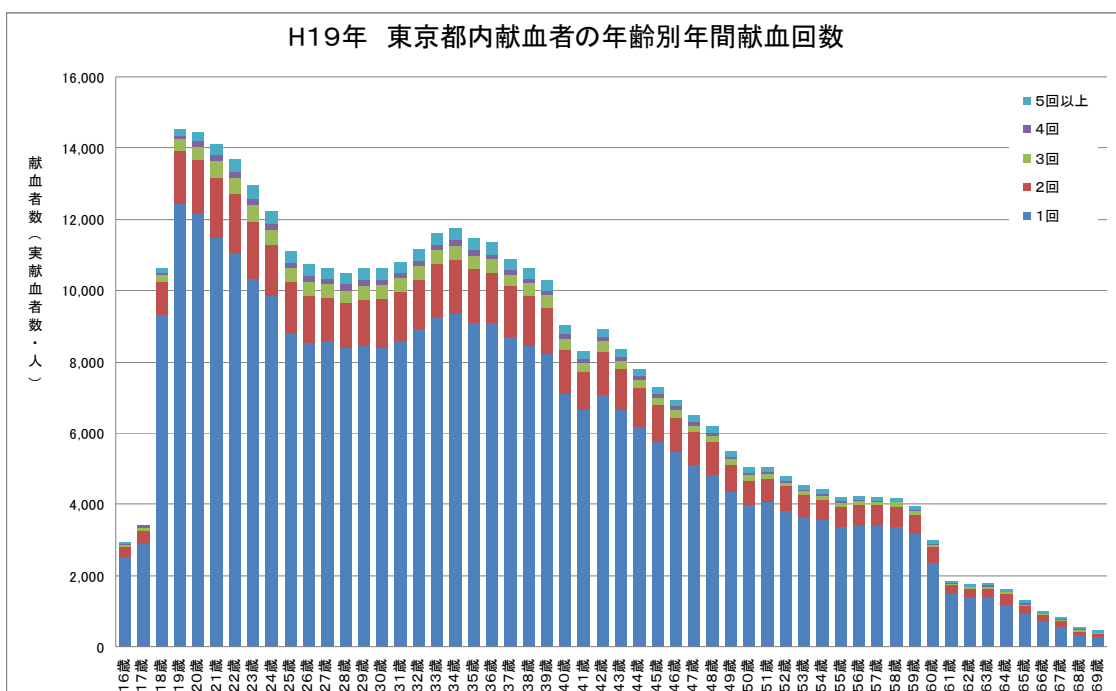
29,341人

- 年齢別に見る実献血者数

17歳、18歳が突出して25歳までの間に大きく減少するが、25歳～34歳にかけて再び緩やかな上昇を見せる。

- 献血回数の傾向

献血回数1回の献血者に対する献血回数2回の献血者の割合は、全年齢を通じてほぼ10%～15%だが、37歳～40歳代で他の年齢よりもやや高め傾向にある。



- 実総献血者数

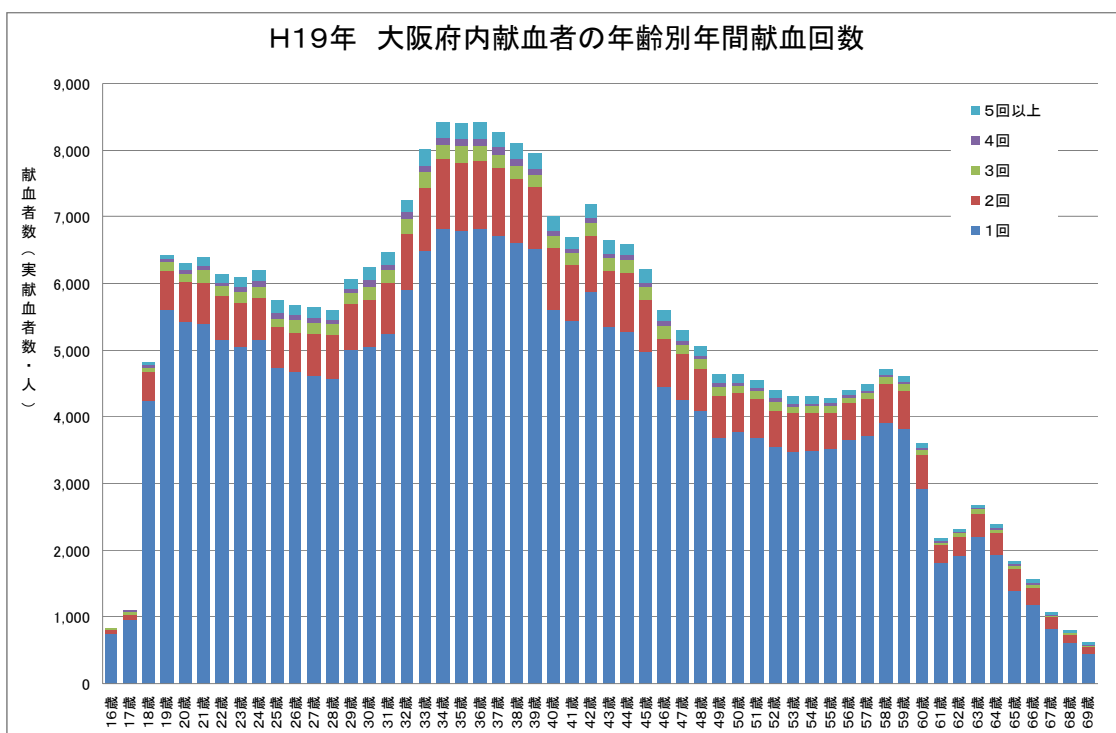
396,666人

- 年齢別に見る実献血者数

他の年齢に比べて19歳～22歳の献血者数が突出し、41歳以降に献血者数の落ち込みが見られる。全体的に見ると、19歳をピークとして右下がり傾向。

- 献血回数の傾向

献血回数1回の献血者に対する献血回数2回の献血者の割合は、22歳以上のほぼ全年齢で15%以上。また、全年齢を通じて10%を割り込まない一方で、16歳～64歳までの割合の最高と最低の差が他の道府県と比較すると最も小さい。



● 実総献血者数

275,361人

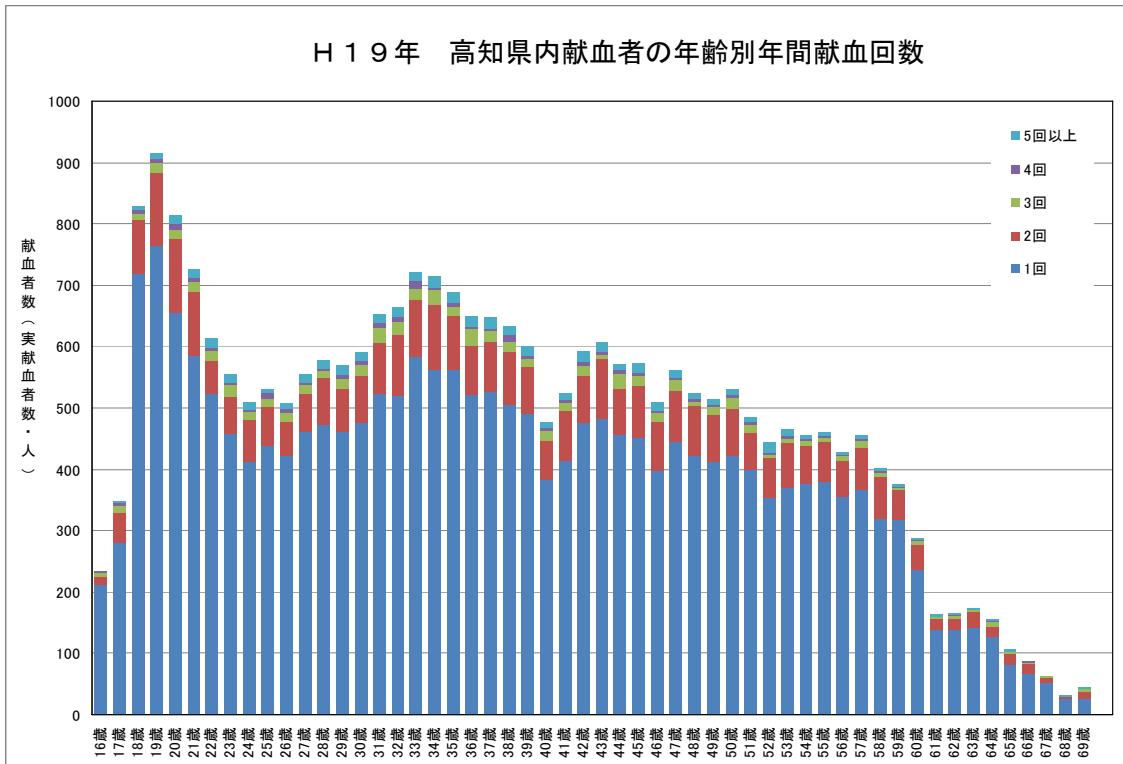
● 年齢別に見る実献血者数

19歳から28歳にかけては緩やかな右下がり。29歳から上昇し始めて33歳～39歳で一番のピークがあり、その後は緩やかな右下がり。

● 献血回数の傾向

献血回数1回の献血者に対する献血回数2回の献血者の割合は、全年齢を通じてほぼ10%～17%で、突出した傾向は見られない。

H 1 9 年 高知県内献血者の年齢別年間献血回数



● 実総献血者数

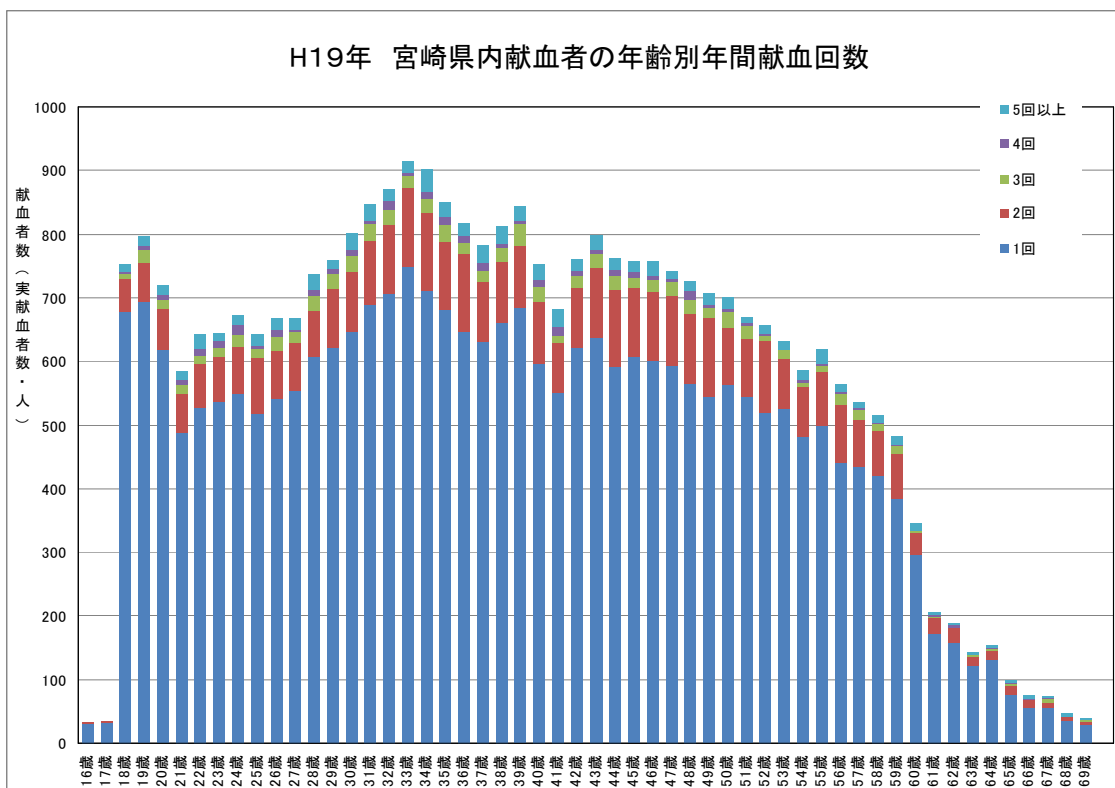
26,092人

● 年齢別に見る実献血者数

他の年齢に比べて18歳～20歳の献血者数が突出している。21歳～25歳前後までの献血者数の落ち込みが激しいが、以降は緩やかに上昇し、34歳前後に第二のピークがあり、40歳、41歳を除いてその後は緩やかな右下がり。

● 献血回数の傾向

献血回数1回の献血者に対する献血回数2回の献血者の割合は、全年齢で、ほぼ15%～20%で、特定の傾向は見られない。



- 実総献血者数

31,579人

- 年齢別に見る実献血者数

他の年齢に比べて33歳前後の献血者数が突出しているが、大きな差はない。
60歳以降を除けば、21歳～27歳までの若年層の献血者がやや少ない。

- 献血回数の傾向

献血回数1回の献血者に対する献血回数2回の献血者の割合は、20歳～31歳までが10%～15%。32歳以上でほぼ15%～20%となっている。